

「富山大学人文学部短期（1年：上級レベル）留学生プログラム（受け入れ）」要項
（2024年10月～2025年9月）

1. 受入対象学生

人文学部に受け入れる学術交流協定校からの短期留学生（特別聴講学生）

2. 受け入れ期間

原則1年間とする。

3. 授業の概要

受け入れ留学生一人ひとりの興味・関心を尊重しながら、日本語・日本文化学習の指導と、専門性の指導がバランスよくなされるように、各人のレベルにあわせて個別にカリキュラムを編成する。

a. 留学生を対象とした日本語・日本文化に関する授業科目と、b. 人文学部で開講されている幅広い専門科目の中から、各自の専門とレベルに合わせて授業科目をとる。それと同時に、指導教員からの個人指導を随時受ける。個人指導の中で各々に研究課題を定め、修了レポートをまとめる。

a 日本語・日本文化に関する授業科目例
（2023年度現在）

最新の情報はウェブサイトでご確認ください。

総合日本語コース（上級）		
科目名	授業時間数	
	秋	春
読解C	—	30
読解C a	30	—
読解C b	30	—
文法C a	30	30
文法C b	30	30
聴解C	30	30
会話C	30	30
漢字C	30	30
作文C	30	—
表現技術C	—	30
日本文化C	30	30

科目名	授業時間数	
	秋	春
日本語	30	30
日本事情	30	30
異文化理解	-	30

*短期留学生だけのクラス編成は行わない。各自の日本語能力に応じたクラスを選択する。

* 専門科目及び「日本語」「日本事情」「異文化理解」は、富山大学>キャンパスライフ>Webシラバス（授業案内）に掲載。

*総合日本語コースは、富山大学>学部・大学院・施設>国際機構にシラバスを掲載。

b 専門科目

人文学部で開講される幅広い専門科目より各自の興味にあわせて授業科目を選択する。

人文学部における「教育研究分野」は以下の通りである。

哲学・人間学コース：哲学、人間学

歴史文化コース：日本史、東洋史、西洋史、考古学

心理学コース：心理学

社会文化コース：社会学、人文地理学、文化人類学、国際関係論

言語学コース：言語学

東アジア言語文化コース：日本語学、日本文学、朝鮮言語文化、中国言語文化

英米言語文化コース：イギリス言語文化、アメリカ言語文化

ヨーロッパ言語文化コース：ドイツ言語文化、フランス言語文化、ロシア言語文化

☆なお、人文学部では特別に、留学生対象の科目として「日本文化論演習」を開講している。

(*詳しくは人文学部ウェブサイト参照 富山大学> 人文学部)

<時間数>

秋期(10月~3月)と春期(4月~9月)に各15週開講、1コマ90分授業。

4. 修了要件

- a. 日本語・日本文化に関する授業科目と、
- b. 専門科目の中から、自分のレベル、興味にあわせて、一期8コマ以上、春秋期あわせて16コマ以上の授業をとる。それと同時に、指導教員からの個人指導を随時受ける。

指導教員による個人指導の中で各々に研究課題を定め、その結果を修了レポートにまとめる。

5. 指導体制

留学生の志望する専攻分野の指導教員が、学業及び生活面の個別指導を行う。また、チューターと呼ばれる日本人学生による学習/生活支援活動もある。

6. 交流活動

様々な交流活動が実施されている。

7. 修了証の発行、単位互換

- 1) 修了者には修了証、及び、成績証明書を交付する。
- 2) 学術交流協定校には単位互換の制度がある。

8. 受入学生の資格、条件等

人文学部短期(1年間)留学生として受け入れることができるのは、原則として以下の要件を満たす者とする。

- 1) 在留資格
日本に留学生として在留する資格のある者
- 2) 日本語能力
国際交流基金及び日本国際教育支援協会による日本語能力試験のN2相当以上の日本語能力を有する者(ただし、N1相当であることが望ましい。)
- 3) 研究学習歴
人文学部の定める書式による研究計画等を提出期限までに提出し、選考の結果選ばれた者。

問い合わせ先

担当部署	富山大学五福高岡地区事務部 人文学部学務課(人文学部担当)
大学所在地	〒930-8555 富山県富山市五福3190
TEL	076-445-6138
FAX	076-445-6142
Eメール	jinbunk@adm.u-toyama.ac.jp